

# 現場の声で行政を変えよう！

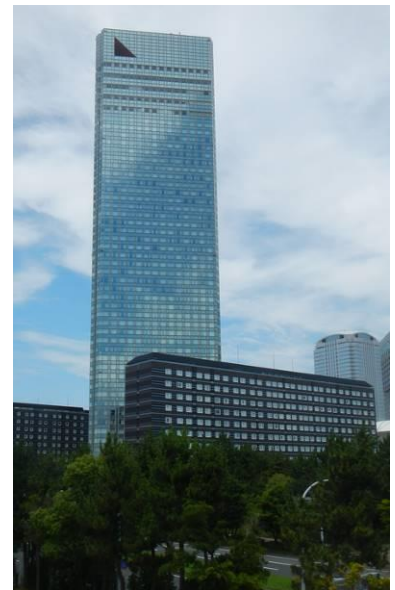


集会初日 藤本現評議長挨拶

7月22日から24日にかけて、千葉県 東京ベイ幕張において、自治労第1回現業政策集会が開催されました。この集会は今まで部会（職種）ごとに行ってきた現業集会を一つの会場で行うことで、他職種の問題を共有するとともに横断的な連帯をはかるためです。また、住民と行政との最前線

である現業職場から政策提言を行い、住民サービスの充実と向上を目指すという目的もあります。災害時の対応、子供の貧困化、ごみ屋敷問題など、現業職場が向き合っている問題を住民と共に考え、解決していくことが現業活性化の重大な課題であるとしています。

例えば学校用務の職場で発生する剪定ゴミを、学校給食の現場で発生する野菜ゴミと一緒にたい肥化する取り組みは、ごみの減量という課題で清掃職場にも関係してきます。災害発生時に避難所となる学校や公園施設、災害後のがれきの片づけなど、現業職場が連携するメリットは大きいものがあります。こうした利点を訴えて民間委託攻撃に対抗していくことは社会的にも意義があると考えます。地域住民と共に、現場の目線で政策提言をしていくことを目標とした現業政策集会でした。



会場の東京ベイ幕張（中央）